
医療と介護の連携推進業務委託 報告書

令和5年3月
日野市健康福祉部在宅療養支援課

(このページは白紙です)

目 次

0	業務の概要	1
0-1	業務の目的.....	1
0-2	業務の進め方.....	1
1	日野市在宅高齢者療養推進協議会検討部会の開催	3
1-1	会議の概要.....	3
1-2	各回の内容.....	4
2	多職種協働による医療と介護の連携推進勉強会の運営支援	9
2-1	勉強会の開催状況.....	9
2-2	各会の内容.....	10
3	地域住民への普及啓発の実施支援	15
3-1	作業の概要.....	15
3-2	成果物の作成・活用内容.....	16
4	多職種連携ルールの更新	19
4-1	作業の概要.....	19
4-2	ルールの更新内容.....	20
5	国、東京都・他自治体の取組み等の情報提供	23
5-1	情報提供の実施状況.....	23
5-2	情報提供の具体的な内容.....	24
6	次年度の取組方針の検討	27
6-1	検討部会の開催.....	27
6-2	多職種協働による連携推進勉強会の開催.....	27
6-3	地域住民への普及啓発の実施.....	28
6-4	多職種連携ルールの更新.....	28
6-5	国、東京都・他自治体の取組等の情報提供.....	28

(このページは白紙です)

0 業務の概要

0-1 業務の目的

本業務は、日野市在宅高齢者療養推進協議会（以下、「推進協議会」）、日野市在宅高齢者療養推進協議会検討部会（以下、「検討部会」）及びその他在宅高齢者の療養環境整備支援に係る業務について、円滑かつ効率的、効果的に運営することを目的とする。

「推進協議会」及び「検討部会」は、高齢者が安心して在宅療養を受けられるよう、介護、福祉、医療、保健の各分野のサービス提供主体間における円滑かつ有機的な連携体制の構築を推進することを目的に設置されたものである。

0-2 業務の進め方

「検討部会」を作戦本部として、この運営支援を中心に、以下の各項目について企画・運営を進めた。

- 多職種による医療と介護の連携推進勉強会の運営支援
- 地域住民への普及啓発の実施支援
（市民啓発イベントの開催支援 及び 市民啓発ガイドブックの更新支援）
- 多職種連携ルールの更新
- 国、東京都・他自治体の取組等の情報提供

(このページは白紙です)

1 日野市在宅高齢者療養推進協議会検討部会の開催

1-1 会議の概要

「検討部会」は、在宅療養環境の向上及び医療と介護の連携体制の構築等に関する取組について具体的な検討を進めるために、「推進協議会」のもとに設置された会議体である。平成25年度より、医療と介護の連携に特に関わりの大きい「日野市医師会」「日野市歯科医会」「日野市薬剤師会」「日野市訪問看護ステーション協議会」「日野市立病院」「日野市在宅介護事業者協議会」「ひのケアマネ協議会」「地域包括支援センター」の8団体の代表者と行政（日野市在宅療養支援課及び高齢福祉課）を構成員に定期的に活動している。

令和元年度末からは、新型コロナウイルス感染症への対応について情報交換や検討を行っており、「検討部会」自体もビデオ会議ツールを活用したオンライン形式で開催することとなっている。

令和4年度の「検討部会」は、コロナ禍でも“できるところから実施する”ことを基本方針に、対専門職では連携推進勉強会のテーマや開催方法について、対市民ではイベントに頼らない啓発の方法について、検討を進めた。新型コロナウイルス感染症が徐々に収束してきた年度の後半には、“顔の見える関係づくり（第1段階の勉強会）”をはじめとするコロナ禍以前の取組を再開することの重要性が指摘されるようになり、令和5年3月には3年ぶりに対面（対面形式とオンライン形式のハイブリッド）の「検討部会」も開催している。

▼「検討部会」等の開催日程と主要な検討テーマ

回数	日程	主要な検討テーマ
第1回	令和4年5月20日	○令和4年度の検討部会の進め方について ○令和4年度の具体的な取組について
第2回	令和4年8月24日	○連携推進勉強会の開催内容について ○地域住民への普及啓発動画第二弾の構成について
第3回	令和4年12月19日	○ACPをテーマにした連携推進勉強会について ○地域住民への普及啓発動画第二弾の内容について
第4回	令和5年3月20日	○ACPをテーマにした連携推進勉強会について ○次年度以降のテーマと取組の内容について

1-2 各回の内容

1-2-1 第1回検討部会

第1回検討部会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	: 令和4年5月20日(金) 18:30~20:40
開催場所	: ビデオ会議 (Zoom)
参加者	<p>【委員】 : 日野市医師会代表望月氏、日野市歯科医会代表高品氏、日野市薬剤師会代表伊藤氏、日野市訪問看護ステーション協議会代表湯谷氏、日野市立病院 MSW 高橋氏、日野市在宅介護事業者協議会代表石岡氏、日野市地域包括支援センター代表相馬氏</p> <p>【事務局】 : 山下部長/課長事務取扱、旗野副主幹、山城主査、蛭子主事(以上、在宅療養支援課)、成澤主幹、地下課長補佐(以上、高齢福祉課)、委託事業者</p>
プログラム	<p>【報告】 1. 事務局連絡(実際には会議終了直前に実施) 2. 各職種の動きについて</p> <p>【議題】 1. 今年度の検討部会の進め方について (1) これまでの取組の振り返り (2) 今年度の主な作業内容とスケジュール 2. 具体的な取組について (1) 連携推進勉強会の開催 (2) 地域住民への普及啓発の実施 (3) その他(MCSの登録・活用の促進) 3. その他</p>
配付資料	<p>【事前配布】 2021年度第4回検討部会 議事録、2022年度第1回検討部会 資料、連携勉強会の開催案内、薬剤師⇔ケアマネジャーの関係に関するコメント、2021年度事業報告書、市民啓発ガイドブック(合冊版)、「日野市在宅療養体制構築のための基本方針」進行管理表、広報ひの6月号エンディングノート</p>
結論	<ol style="list-style-type: none"> 従来の内容・形式にとらわれず、“できるところから”連携勉強会や地域住民への普及啓発等の取り組みをどんどん開催していくこととする。 今年度の連携勉強会は、まず以下の内容を候補として企画検討や開催準備を進めることとする。 <ul style="list-style-type: none"> 薬剤師とケアマネジャーをつなげる勉強会 ACPについて理解を深め、市民にどう周知 啓発していくかを学ぶ勉強会 日野市で見られる支援困難事例とその対応について学ぶ勉強会 効果的な在宅療養の普及啓発を目指して、今年後は以下のようにターゲットを絞り込んだ動画の作成等を検討することとする。 <ul style="list-style-type: none"> 元気な方を対象にした在宅の入口に関する情報提供(新たな動画等の作成) SNS等で周知がしやすい短縮版の動画の作成 その他、MCSの登録・活用の促進として以下の取組を進めることとする。 <ul style="list-style-type: none"> 勉強会等のイベントを通じた登録者の拡大 患者グループの試行(活用事例の積み上げ) 書式のひな型等の用意(活用しやすい環境の整備) 次回以降の検討部会では、顔の見える関係づくり(飲み会等)や在宅療養の普及啓発のための大規模イベントがどのようにすれば再開できるかを検討課題に加えることとする。

1-2-2 第2回検討部会

第2回検討部会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	: 令和4年8月24日(水) 18:30~20:50
開催場所	: ビデオ会議 (Zoom)
参加者	<p>【委員】 : 日野市医師会代表望月氏、日野市歯科医会代表高品氏、日野市薬剤師会代表伊藤氏、日野市訪問看護ステーション協議会代表湯谷氏、日野市立病院 MSW 高橋氏、同看護師堀江氏、日野市在宅介護事業者協議会代表石岡氏、ひのケアマネ協議会代表横川氏、日野市地域包括支援センター代表相馬氏</p> <p>【事務局】 : 山下部長/課長事務取扱、旗野副主幹、山城主査、永瀬主任、蛭子主事(以上、在宅療養支援課)、志村参事、成澤主幹(以上、高齢福祉課)、委託事業者</p>
プログラム	<p>【報告】 1. 事務局連絡 2. 各職種の動きについて</p> <p>【議題】 1. 連携推進勉強会の開催内容について 2. 地域住民への普及啓発動画第二弾の構成について 3. その他</p>
配付資料	<p>【事前配布】 2022年度第1回検討部会 議事録、2022年度第2回検討部会 資料、第2回連携推進勉強会の開催案内案、対応困難事例詳細、ACP 説明資料案、第1回連携推進勉強会 アンケート結果、MCS補足説明資料案</p>
結論	<ol style="list-style-type: none"> 支援困難事例を題材にした連携推進勉強会は、医療・介護関係者だけでは解決できない事例を取り上げて多くの学びが得られる一方、グループワークの進行に不安材料があることから、以下を基本方針に相馬委員と相談しながら開催準備を進めることとする。 <ul style="list-style-type: none"> 事例紹介とあわせて包括の活動紹介を行う GWでは多職種が発言しやすいような工夫を行う ACPを題材にした連携推進勉強会は、日野市におけるACPの展開を促進するためのプログラムを目指して、望月委員と相談しながらブラッシュアップを図ることとする。 その他、連携推進勉強会の開催は以下のような方針とする。 <ul style="list-style-type: none"> オンライン開催であっても、顔が見える関係づくりにつながるグループワークを組み込んだプログラムとする 開催通知は、各協議会での周知に活用しやすいよう通知文形式とチラシ形式の2種を部会員に送付する 普及啓発動画第二弾は、取り上げるケースを以下のような内容に絞り込んだ上で、事務局がコンテやパイロット版の作成を進めることとする。 <ul style="list-style-type: none"> うまくサービスを使って自宅で元気に暮らしているケース フレイル予防等がメインとなるケースは避ける (在宅療養の普及という会の目的からずれてしまう可能性があるため)

1-2-3 第3回検討部会

第3回検討部会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	: 令和4年 12月 19日 (月) 18:30~21:00
開催場所	: ビデオ会議 (Zoom)
参加者	<p>【委員】 : 日野市医師会代表望月氏、日野市歯科医会代表武内氏、日野市薬剤師会代表伊藤氏、日野市訪問看護ステーション協議会代表湯谷氏、日野市立病院 MSW 高橋氏、日野市在宅介護事業者協議会代表石岡氏、ひのケアマネ協議会代表横川氏、日野市地域包括支援センター代表相馬氏</p> <p>【事務局】 : 山下部長/課長事務取扱、旗野副主幹、山城主査、永瀬主任 (以上、在宅療養支援課)、成澤主幹 (以上、高齢福祉課)、委託事業者</p>
プログラム	<p>【報告】 1. 事務局連絡 (コロナ対応等) 2. 各職種の動きについて</p> <p>【議題】 1. 連携推進勉強会の開催内容について 2. 地域住民への普及啓発について 3. その他</p>
配付資料	<p>【事前配布】 2022 年度第2回検討部会 議事録、2022 年度第3回検討部会 資料、第3回勉強会 資料 (案)、第2回連携推進勉強会 アンケート結果</p> <p>【当日配布】 市民啓発動画 (ラフ) (作成中) ※当日一部内容を上映</p>
結論	<ol style="list-style-type: none"> 今後の連携推進勉強会は、原点に戻って以下の通り開催することとする。 <ul style="list-style-type: none"> 第1段階の勉強会を年に最低1回は開催する 第2段階の勉強会は新規プログラムを年に1回、その他は過去に開催したプログラムを含めて開催を検討する 第3回勉強会は、ACP をテーマに“顔の見える関係づくり (第1段階)”に資する内容となるよう再構成を図ることとする。 <ul style="list-style-type: none"> “ACP とはどのようなものか”を知ってもらい、“次からやってみよう”と思わせることを狙いとする 一部会員にレベル感を確認しながら文字だけではなく明快な資料を作成する ACP については、第2段階 (症例検討等) の勉強会として次なる展開も検討することとする。 市民啓発動画については、以下の修正を加えた上で各委員から改めて意見をいただくこととする。 <ul style="list-style-type: none"> 取材対象者本人の言葉や、歩いている様子などを追加する 動画の最後に人生会議に関する説明を追加する 今後の検討部会では、日野市の多職種連携や地域包括ケアの重要課題を解決するための検討を、できるだけ対面で行うこととする。

1-2-4 第4回検討部会

第4回検討部会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	: 令和5年3月20日(月) 18:30~20:30
開催場所	: 会場(在宅療養支援課)とビデオ会議(Zoom)のハイブリッド
参加者	<p>【委員】 : 日野市医師会代表望月氏、日野市歯科医会代表武内氏、日野市薬剤師会代表伊藤氏、日野市訪問看護ステーション協議会代表湯谷氏、日野市立病院MSW高橋氏、日野市在宅介護事業者協議会代表石岡氏、ひのケアマネ協議会代表横川氏、日野市地域包括支援センター代表相馬氏</p> <p>【事務局】 : 山下部長/課長事務取扱、旗野副主幹、山城主査、永瀬主任、蛭子主事(以上、在宅療養支援課)、志村参事(以上、高齢福祉課)、委託事業者</p>
プログラム	<p>【報告】 1. 事務局連絡 2. 各職種の動きについて</p> <p>【議題】 1. 第3回勉強会の開催内容について 2. 次年度以降のテーマと取組の内容について 3. その他</p>
配付資料	<p>【事前配布】 令和3年度第3回検討部会 議事録、令和3年度第4回検討部会 資料、MCSの使用例、MCSの運用関連資料《参考》、市民啓発動画完成版(URLを事前に連絡)、市民啓発ガイドブック合冊版、MCSの相談機能を活用した勉強会のまとめ(案)</p> <p>2022年度第3回検討部会 議事録、2022年度第4回検討部会 資料、第3回勉強会 資料(案)、市民啓発動画(案)</p> <p>※市民啓発動画(案)については動画視聴用のリンクを別途ご連絡</p>
結論	<ol style="list-style-type: none"> 勉強会の説明資料については以下の修正を行い完成版とする。 <ul style="list-style-type: none"> “病気への向き合い方”等の健康な時期から考えたいことがある旨を追記する 進行の概略を2で示す内容に差し替える 勉強会のグループワークは、進行役が患者・利用者役となって、この方にとって良い方向を参加者全員で考えるような内容とする。 勉強会当日に向けて検討部会員には進行役と進行補助役の組合せ、ACPを考えるキャラクターの初期設定、各グループの参加者を事前に連絡する。 次年度の検討部会では、勉強会や市民啓発の活動は以下のような方針で進めることとし、これらのコンテンツ開発に時間をかける代わりに、在宅療養に関する地域の課題や今後の取組について議論を積み重ねることとする。 <ul style="list-style-type: none"> 勉強会は第1段階を中心としたかつてのローテーションで開催する 市民啓発イベントはコロナ前と同じ内容で開催する

(このページは白紙です)

2 多職種協働による医療と介護の連携推進勉強会の運営支援

2-1 勉強会の開催状況

「連携推進勉強会」は、在宅療養支援課及び「検討部会」が実施主体となって、医療と介護に携わる専門職同士の「顔の見える関係づくり」（第1段階勉強会）や多職種が同じ方向を向いてより良いサービスを提供できる体制づくり（第2段階勉強会）を目指して、定期的を開催しているものである。勉強会の開催結果は必ずまとめを作成して情報の共有と疑問点の解消に努めているほか、閉会後には懇親会の開催が恒例となっており、これらも多職種の連携を促進する材料となっている。

- 第1段階勉強会：市内の医療と介護の関係者の「顔の見える関係づくり」の場となる勉強会
 - 第2段階勉強会：具体的な症例検討等を通じた多職種協働のイメージ共有や具体的な経験を積み上げる場となる勉強会
- ※ この他にも、市内4つの日常生活圏域毎に地域包括支援センターが呼びかける地域の専門職間の交流や技術の向上を促す勉強会や、各職種独自の研修会や講演会等を開催している

令和元年度末以降は、新型コロナウイルス感染症対策のため、ウェビナーや多職種連携ツールメディカルケアステーション（以下、MCS）上での交流等が中心となっており、職種を横断するような交流の場を開催できていなかったことから、令和4年度は、コロナの流行状況をにらみながら“できるところから開催する”ことを基本に、以下のような内容の会を開催することとした。

▼各会の開催日程等

名称	日程	主催と対象
薬剤師とケアマネジャーをつなぐ連携推進勉強会	令和4年6月16日	主催：日野市在宅療養支援課 対象：薬剤師会、ケアマネ協議会に所属する方
市内の「支援困難事例」に関する連携推進勉強会	令和4年11月15日	主催：日野市在宅療養支援課 対象：医師会、歯科医会、薬剤師会、訪問看護ステーション協議会、病院、在宅介護事業者協議会、ケアマネ協議会、地域包括支援センター連絡会の各団体※の所属事業所と市役所 ※「検討部会」に参加する8団体
アドバンス・ケア・プランニングに関する勉強会	令和5年3月24日	
市立病院と地域との情報交換会	令和5年2月20日	主催：日野市在宅療養支援課と市立病院患者総合寢室の共催 対象：市立病院の外来看護師、ケアマネジャー、地域包括支援センター

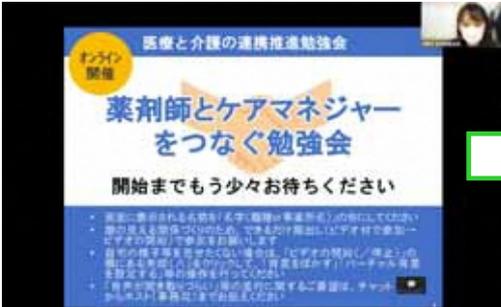
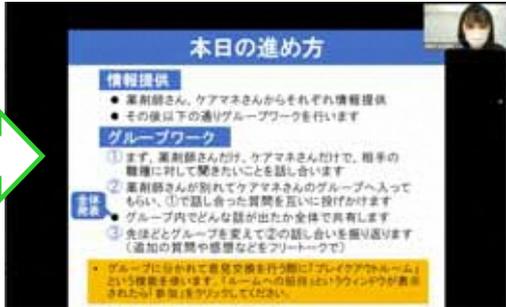
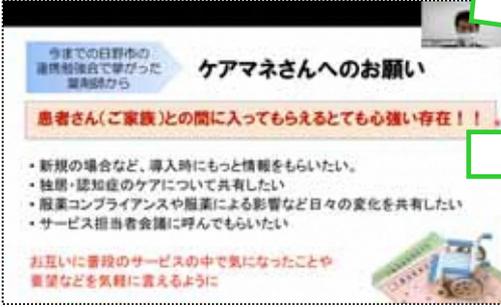
2-2 各会の内容

2-2-1 薬剤師とケアマネジャーをつなぐ連携推進勉強会

前年度に開催したMCSを活用したオンライン勉強会（MCSの相談機能を使って「薬剤師」に質問してみましょう！）に続く内容として、薬剤師とケアマネジャーを対象に、特定の職種間の連携に焦点をあてたはじめての勉強会以下の通り開催した。

職種間の情報交換を中心の会にしたところ、「オンラインでも顔が見えるディスカッションができると、親近感を持ち、今後相談がしやすくなって良い」という感想を得ることができた。

▼開催概要

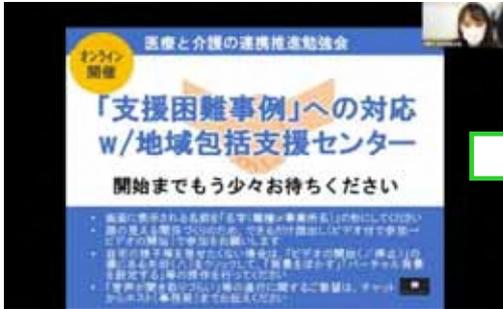
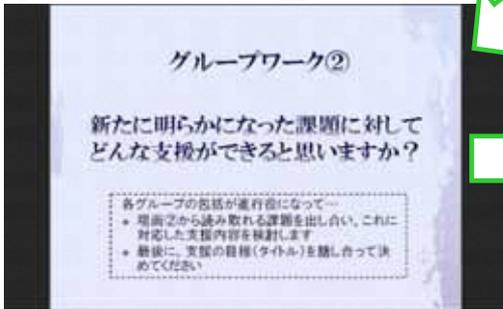
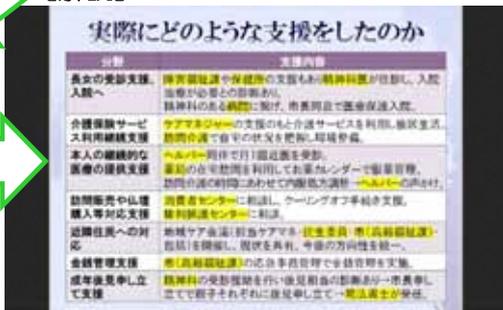
開催日時	: 令和4年6月16日（金） 18:00~20:00
開催場所	: オンライン開催（ウェブ会議ツール「Zoom」）
出席者	【出席者】: 薬剤師 11名、ケアマネジャー40名、その他2名 計53名（49端末） 【事務局】: 5名
プログラム	<p>【開会】</p>  <p>【進め方の説明】</p>  <p>: 日野市在宅療養支援課からの挨拶 : グループワークの進め方について説明</p>
	<p>【情報提供①】</p>  <p>【情報提供②】</p>  <p>: 両職種からそれぞれの主な業務内容や連携を進める上でのお願い等を紹介</p>
	<p>【グループワーク】</p>  <p>【全体発表】</p>  <p>: 職種毎に相手に聞きたいことを相談したら、メンバーを入れ替えて話し合い : 各グループの話題を全体で共有→もう一度グループ別に振り返りを実施</p>

2-2-2 市内の「支援困難事例」に関する連携推進勉強会

地域包括支援センターをもっと良く知ること狙って、地域包括支援センター等が実際に関わったケースを題材に、医療・介護サービスだけでは支えることが難しい「支援困難事例」の対応について検討する勉強会を以下の通り開催した。

オンラインではあったが、久々に多職種が集まるグループワークを開催することができた。

▼開催概要

開催日時	：令和4年11月15日（火）18：30～20：00
開催場所	：オンライン開催（ウェブ会議ツール「Zoom」） ※一部参加者は会場参加（在宅療養支援課打合せスペース）
出席者	【出席者】：関連8団体（9頁参照）に所属する参加者計51名（51端末） 【事務局】：6名（グループワーク参加者を含む）
プログラム	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>【開会】</p>  <p>：日野市在宅療養支援課からの挨拶</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>【情報提供】</p>  <p>：講師役となる地域包括支援センターから主な業務内容や連絡先等を紹介</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 48%;"> <p>【グループワーク_出題】</p>  </div> <div style="width: 48%;"> <p>【グループワーク_検討】</p>  </div> </div> <p>：その後のグループワークでは、実際にあった状況に似せた支援困難症例を出題し、どのような支援ができるか多職種で話し合いを実施（前半・後半の2回実施）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 48%;"> <p>【全体発表】</p>  </div> <div style="width: 48%;"> <p>【解説】</p>  </div> </div> <p>：各グループで話し合った内容を全体で共有した後は、各回とも講師役からのコメントと、実際に行った対応とその後の経過の紹介を実施</p>

2-2-3 アドバンス・ケア・プランニングに関する勉強会

在宅療養環境の向上を進める上で避けては通れないアドバンス・ケア・プランニング(以下、ACP)をテーマに、まずACPに関する基礎知識や各職種の出組の様子を共有すること、そのやり取りを通じてコロナ禍で薄れつつある“多職種の顔の見える関係”の再構築を図ることを狙った勉強会を以下の通り開催した。

約3年ぶりに多職種が集まって話をする機会となり、閉会後に実施したアンケートでは、回答者全員が「対面が理想的」「対面の方がメリット多」と回答している。

▼開催概要

開催日時	：令和5年3月24日(金) 19:30~21:30	
開催場所	：日野市役所 505 会議室	
出席者	【出席者】 ：関連8団体(9頁参照)に所属する参加者計36名 【事務局】 ：6名(グループワーク参加者を含む)	
プログラム	【開会挨拶】  ：日野市在宅療養支援課からの挨拶	【情報提供】  ：ACPの背景や進め方の概要を説明
	【グループワーク① 自己紹介】  ：久しぶりの対面での勉強会なので名前や職種の紹介を少し丁寧に実施 ：ACPの印象等についても一言	【グループワーク②】  ：進行役が提示する対象者像に対して、どんなサポート/意志決定支援ができそうか話しあい
	【全体発表】  ：各グループの代表にどんな話が出たのかを発表していただき、全体で共有	【閉会挨拶】  ：連携推進勉強会に多大な貢献をされたT先生に向けた黙祷も行いました

2-2-4 市立病院と地域との情報交換会【参考】

これまで勉強会等の場で連携ニーズの高かった職種の一つである病院との連携を改善する取組の一つとして、「情報交換会」と称した市立病院と地域のケアマネジャー、地域包括支援センターが顔をあわせる機会を以下の通り設けた。

当日は、実際に市立病院の外来の看護師と地域包括支援センターが連携した事例の紹介やそれぞれの職種に対する質疑応答等を行いこれが好評であったため、“外来と地域との連携”を中心的なテーマにこうした会を継続して開催していくこととなった。

▼開催概要

開催日時	: 2月20日(月) 16:00~17:00
開催場所	: オンライン(ウェブ会議ツール「Zoom」)と会場(日野市立病院3階講堂)のハイブリッド開催
出席者	【出席者】 : 市立病院6名、ケアマネジャー20名、地域包括支援センター9名 計35名 【事務局】 : 5名
当日の様子	

(このページは白紙です)

3 地域住民への普及啓発の実施支援

3-1 作業の概要

地域住民への普及啓発は、イベントとガイドブック（在宅療養ガイドブック）の2つが柱になっていたが、新型コロナウイルス感染症が発生して以降は人を集めるイベントの開催ができなかったことから、ガイドブックに加えて動画を作成して普及啓発のツールの拡充を図っている。

令和4年度は、この取組を継続することとし、通算3本目の新しい動画の作成を進めた。ガイドブックについては、既に基本的な情報をまとめた冊子が完成していることから、内容の時点修正を行った。

▼過去5年の普及啓発の取組

年度	取組内容
平成30年度	○第2回「ひの在宅医療・介護サービスフェア」の開催
令和元年度	○在宅療養ガイドブック「在宅療養の基本編」の作成 ※イベント「ひの在宅医療・介護サービスフェア」の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の流行で開催中止となった
令和2年度	○在宅療養ガイドブック副読本「導入イメージ紹介編」の作成 ○在宅療養PR動画の作成（在宅療養の概要とガイドブックの紹介）
令和3年度	○市民啓発動画「住み慣れた地域で生き、看取られる暮らし」の作成 ○在宅療養ガイドブック合冊版（「在宅療養の基本編」と「導入イメージ紹介編」の合冊）の作成
令和4年度	○市民啓発動画「元気なうちから知っておきたい介護と医療の話」の作成 ○在宅療養ガイドブック合冊版の時点修正

3-2 成果物の作成・活用内容

3-2-1 啓発動画（日野市在宅療養講座）

前年度は、医療・介護ニーズが高い方の参考になるような動画（「住み慣れた地域で生き、看取られる暮らし」）を作成したため、今年度はこれより元気な方が“そろそろ体調が不安定になった時に在宅療養を選択する”ことを促すような内容の動画を作成した。多くの方に気軽に視聴していただけるよう、また介護予防教室の“合間”に流すことができるよう、動画の長さを10分強にまとめた点も前年度との違いとなっている。

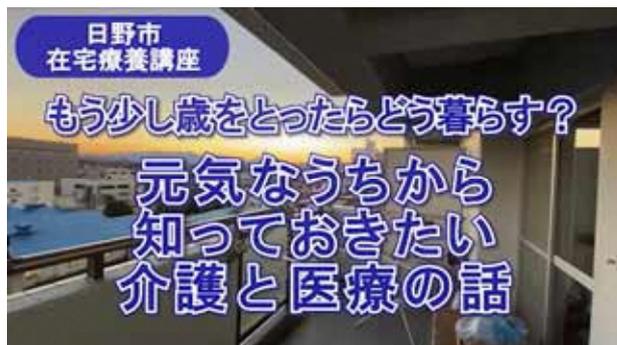
動画の概要は以下の通り。実際の動画を視聴できるQRコードを右に掲載する（現時点ではQRコードは未掲載）。

なお、作成した動画は、日野市ホームページや日野市広報 公式YouTubeチャンネルでの公開や、地域包括支援センターによる介護予防教室等で活用することを予定している。

▼動画の構成

時間	項目（シーン）	主な内容
00：00～	オープニング	○タイトルの表示
00：15～	取材対象者の普段の様子	○元気な様子や健康維持のための努力の紹介 ○一方で、年相応に大変なところがあるところも紹介
02：31～	介護保険サービスの紹介	○介護保険サービスがどのように役に立っているかを紹介 ○元気な（介護度の低い）人がサービスを利用するメリットを紹介
04：55～	在宅医療の紹介	○在宅医療（訪問診療）の概要やこれを検討するタイミングを紹介（在宅＝寝たきりのイメージを裏切る）
07：00～	中間のまとめ	○自宅で長く暮らし続けるために、在宅医療や介護サービスの早期導入を検討するメリットについてリマインド
07：35～	人生会議のススメ	○エンディングノートや人生会議等の取組を紹介 ○在宅医療・介護保険サービスに関する相談先を紹介
10：59～	エンディング	○取材対象者の前向きな姿勢を紹介

▼動画の概要



3-2-2 成果物を活用した在宅療養に関する周知

前年度に長編の動画と合冊版のガイドブックを作成していることから、今年度はこれを活用した市民への働きかけも具体的に行っている。以下にその概要を記載する。

▼周知啓発の内容

講座名等	主な実施内容
市内図書館等での市民への情報提供	○在宅療養ガイドブックと日野市版エンディングノートを題材にした展示を実施
ふれあいサロン等での在宅療養講座	○動画「住み慣れた地域で生き看取られる暮らし」を上映し、その後に在宅療養に関する質疑応答や相談を受け付ける講座を開催
在宅療養支援講座 (中央公民館との共催)	○医師の講話と在宅療養に関する質疑応答を行う第一部、動画「住み慣れた地域で生き看取られる暮らし」を上映する第二部の二部構成の講座を開催 ○閉会后には専門職による相談会も実施
がんの緩和ケア講座	○日野市立病院がんカフェ主催の講演会、医師のがん緩和ケア及び在宅医療の講話と質疑応答 ○中央公民館と在宅療養支援課とで共催実施

▼展示の様子（市内図書館等での市民への情報提供）



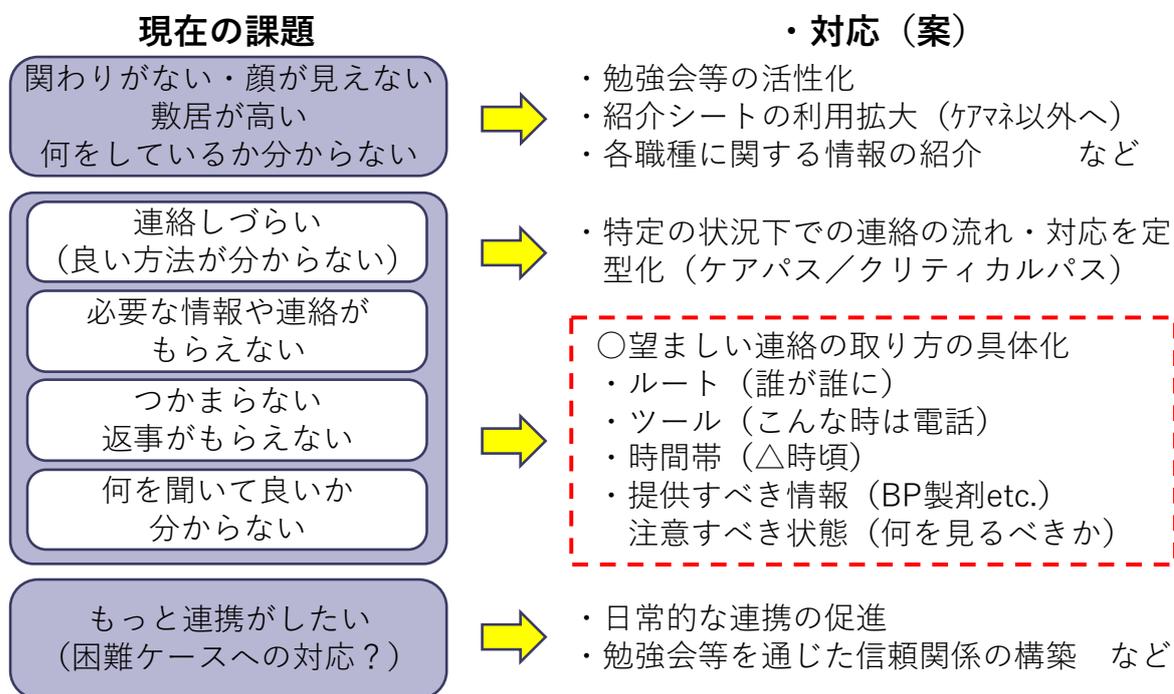
4 多職種連携ルールの更新

4-1 作業の概要

日野市では、医療・介護の関係機関の連絡先や多職種間での基本的な連絡の仕方、連絡用の書式をまとめた「多職種連携ガイド」を平成26年4月に作成している。令和元年度（平成31年度）には、下図のような課題認識のもと職種別に連携の仕方をまとめた「エチケット集（暫定版）」を作成し、その後は適宜、内容の更新・拡充を図っている。

令和4年度は、前年度と同様にMCSの相談機能を活用した勉強会を開催し、ここで得られた知見をもとに「エチケット集」の更新・拡充を図ることを想定していたが、実際には想定とは異なる内容で勉強会を開催したため、「エチケット集」に関連した情報を収集するに留まった。

▼多職種連携ルールの目指すイメージ（右側赤色の囲みが目指すイメージに該当）



※ 上記のイメージは令和元年度に作成したものの。

4-2 ルールの更新内容

4-2-1 職種毎のルールの更新

「エチケット集」の更新に先立って、薬剤師とケアマネジャーをつなぐ連携推進勉強会（2-2-1 参照）や市内の「支援困難事例」に関する連携推進勉強会（2-2-2）、市立病院と地域の介護職との情報交換会（2-2-4）の中で出された意見のうち「エチケット集」に関連する内容を以下の通り整理した。

▼薬剤師とケアマネジャーをつなぐ連携推進勉強会で収集した情報（職種毎に整理）

分かった内容 (記載済みの内容を含む)	もっと知りたい内容 (追加の情報収集や検討が必要な内容)	対象 (該当ルール)
<ul style="list-style-type: none"> ○気になることがあったら患者さんがかかっている薬局に連絡 ○24 時間、緊急時の対応ができる ○かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師 ○服薬アラームの活用 ○担当者会議への参加を呼びかけて良い 	<ul style="list-style-type: none"> ○服薬アラームや服薬ロボットの取扱い薬局、価格 	薬剤師
<ul style="list-style-type: none"> ○ケアマネジャーは薬剤師が把握しているような情報を求めている ○どんなことを相談すればいいのかと考えず、何でも気軽に相談して良い 	—	ケア マネジャー

▼市内の「支援困難事例」に関する連携推進勉強会で収集した情報（状況別に整理）

こんな時	こうする (「こうしたい」という意見を含む)	対象 (該当ルール)
<ul style="list-style-type: none"> ○利用者や家族との間でクレームやハラメント的なやり取りがあった 	<ul style="list-style-type: none"> ○こうした情報も多職種で共有する 	(共通)
<ul style="list-style-type: none"> ○地域で心配な方がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○業務として関わる前の段階で、連携の場に参加できる機会（地域ケア会議等）をつくる 	
<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の認知能力が欠如している等の問題がある（症例のようなケース） 	<ul style="list-style-type: none"> 〔 以下のような対応の標準化を検討する <ul style="list-style-type: none"> —情報開示のルール —発見した場合の連絡先（包括？） —地域ケア会議の開催要請の方法 等 	地域包括支援センター ほか

▼市立病院と地域の介護職との情報交換会で収集した情報（状況別に整理）

こんな時	こうする	対象 (該当ルール)
<ul style="list-style-type: none"> ○外来に来た患者さんで様子が心配な方がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○お住まいの地域を担当する包括に連絡する →まずは介護保険の利用状況等を確認 	地域包括支援センター
<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の外来通院に同行できない時に看護師さん等と連絡を取りたい 	<ul style="list-style-type: none"> 〔 以下のような仕組みを考える前に、まずは互いに話を聞きやすい関係をつくる <ul style="list-style-type: none"> —窓口の明確化 —ケアマネタイム等の連絡時間帯の設定 —「医療と介護の連携シート」等の活用 	病院
<ul style="list-style-type: none"> 〔 どんなケースをカンファレンスで取り上げれば良いかこれから検討 〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○病院と地域でカンファレンス等を開催する 	病院／ケア マネジャー

4-2-2 MCSに関連する取組【参考】

MCSの活用を促進する取組として、患者グループを活用している／活用しようとしている一部の関係者の情報交換会を開催している。ここではすぐにルールを作成を進めるような話にはなっていないものの、“既にMCSには登録しているが市内の関係多職種のための連絡用グループに参加していない（つながりから招待をしづらい）”方に声をかけやすくなると良いという意見があったことから、以下のようなPR資料の作成・配布を行った。

▼MCSに関する新しいPR資料

日野市在宅高齢者療養推進協議会(仮)

MCSを活用している皆さまへ 市内の関係多職種のための 連絡用グループに参加しましょう

「全体グループ@日野市連携」
～連絡用グループに参加するメリット～

- 日野市では、医療・介護の関係者間の連携を向上することを目的に、MCS上に市内の医療・介護全体の連絡用グループ「全体グループ@日野市連携」を運用しています。
- この「全体グループ@日野市連携」に参加すると…
 - 市内の医療・介護関係者を対象に広く質問や相談、情報発信等ができるようになります（過去には、「〇〇職」に何でも質問・相談ができる勉強会をグループ内で開催しました）
 - 市内の介護事業所等に関連するコロナ感染情報もまとめてお知らせしています
 - 関係者との個別の連絡や他のグループへの招待等がやりやすくなります（グループの参加者一覧(つながり)をアドレス帳代わりに使うことができます）

「全体グループ@日野市連携」
～連絡用グループに参加する方法～

方法 A	<p>① 右の QR コード又は以下の URL から参加申込を行ってください</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 登録フォーム < https://forms.gle/DpkzEQz7k5H7FadyA > ➢ 事業所・施設単位で、複数アカウントを一括で申し込むことができます <p>② 事務局が内容を確認し、申込されたアカウントをグループに招待します</p> <p>③ 招待が届いたら参加手続きを行ってください</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ MCS上に「招待が届いています」という通知が表示されます ➢ 通知を選択し「参加」>「参加する」をクリックしてください 	
方法 B	<p>① 既に事業所内で同グループに参加している方がいる場合には、この方が他のスタッフをグループに招待してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ MCSにログイン>「全体グループ@日野市連携」に移動>参加人数の横の「+招待」をクリック>自施設の利用者一覧の中から該当するアカウントの横の「+」をクリック <p>② 事務局が招待を承認したら、グループ内で投稿や閲覧ができるようになります</p>	

**登録ができない、使い方が分からないなど
MCSに関するお問合せはこちらまで**

日野市役所健康福祉部在宅療養支援課(山城、永瀬、鏡子)

- 電話：042-514-8189、FAX：042-514-8097
- メール：ryoyou@city.hino.lg.jp

MCSの操作をもう少し詳しく知りたいという方はこちらをご覧ください

MedicaCareStationのHP

- > 使い方がガイド
- > 自由グループの作成方法
- > 管理者が行える操作 等

(このページは白紙です)

5 国、東京都・他自治体の取組等の情報提供

5-1 情報提供の実施状況

「国、東京都・他自治体の取組等の情報提供」では、検討部会の検討内容にあわせて必要な情報の収集・提供を行っている。

令和4年度は、市民啓発動画のイメージを絞り込む材料として他所で作成された動画の事例について、また今後の検討部会の進め方を議論する材料として他自治体の会議体の運営テーマについて、調査を行った。

その他、ACPをテーマにした勉強会の企画を検討する材料として、他所で使用している書式の収集等も行ったが、この内容については検討部会への情報提供を行っていない。

▼情報提供を行った分野と内容

分野	内容
市民啓発動画の事例	1) 1つの短編ドラマにまとめた事例 2) 様々な場面の再現ドラマで構成された事例 3) 再現ドラマと専門家による解説により構成された事例
他自治体の会議体の運営テーマ	1) 在宅医療・介護連携推進事業の8項目と対応した取組例 2) その他の取組の事例

5-2 情報提供の具体的な内容

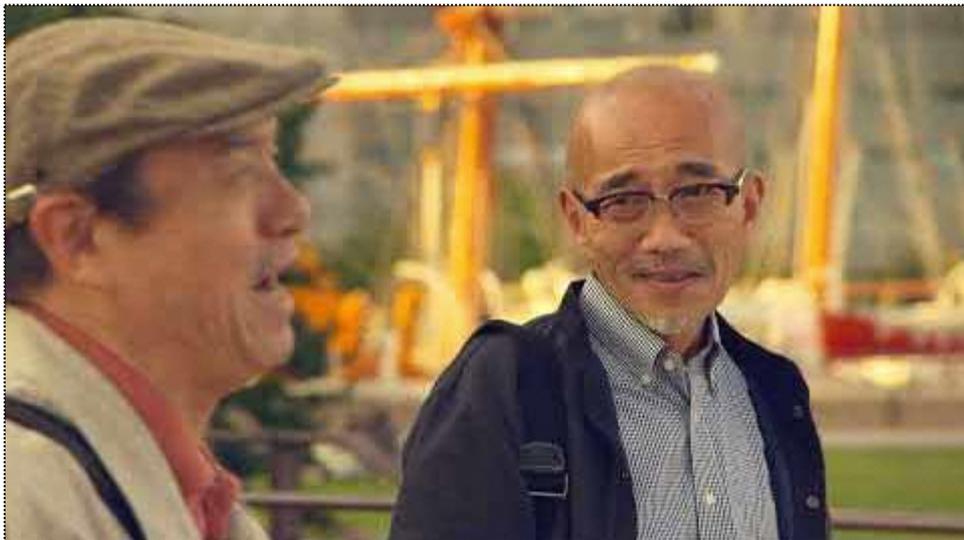
5-2-1 市民啓発動画の事例

市民が在宅療養という選択肢を知り自分の未来を考えるきっかけを与えることを狙って、「人生会議」について紹介する資料や動画が各所で作られ始めている。

このような動画の中で、再現ドラマやインタビューなどを通じて「人生会議」や実際の在宅療養の様子を分かりやすく伝えている以下の事例を選んで紹介を行った。

▼横浜市「人生会議」短編ドラマ 稔りの世代（高齢期）編 ～みなとの見える街で～他（横浜市）

- もしもの時の選択について著名な俳優を起用した1つの短編ドラマにまとめた事例
- 用語の解説や補足説明などのドラマ以外の要素は一切ない点が特徴的な事例



▼自分らしく「生きる」ために ～ACPってなに？～（日本老年医学会）

- 「ACPを行わなかった場合」と「ACPを行った場合」の違いや、「かかりつけ医との話し合い」「家族との話し合い」の場面を再現ドラマによって分かりやすく紹介する事例
- ACPの進め方の簡単な紹介もあるが、主に複数のドラマによって構成されているため、上に比べて倍以上の再生時間となっている点が特徴的



▼人生会議 国民向け普及・啓発事業 ～人生会議について考えるきっかけをつくるために～
(厚生労働省)

- 人生会議が必要となる場面等を紹介する再現ドラマの後に、この事例に実際に関わった専門家（医師）が解説を行う事例
- 専門家の解説は、スタジオの芸能人との質疑応答形式で進める形となっており、全体的に視聴者へ丁寧に分かりやすく情報を伝えようとしている点が特徴的

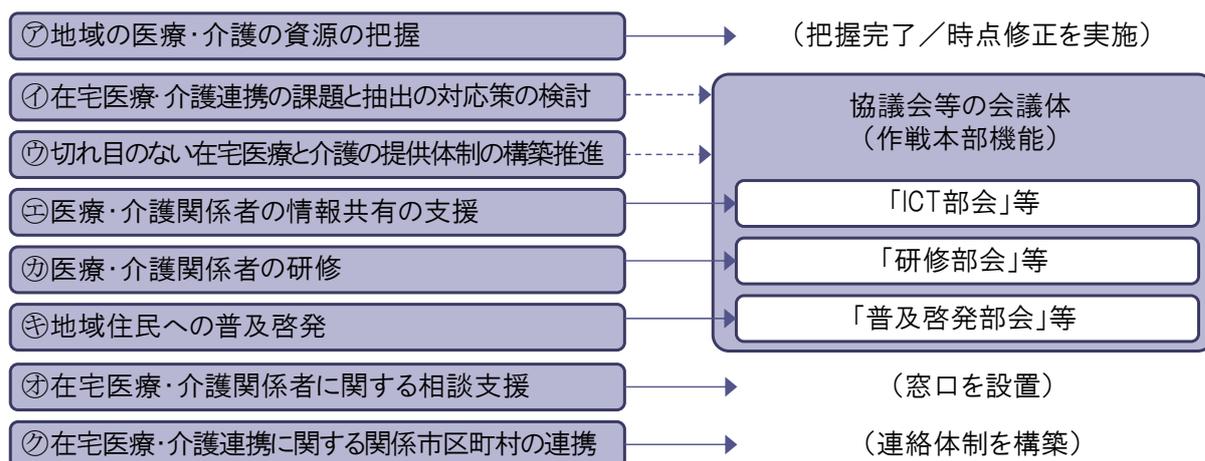


5-2-2 他自治体の会議体の運営テーマ

日野市では、在宅医療・介護連携推進事業で示されたア～クの8つの事業項目に沿って取組を開始しているが、現在は勉強会（カ）、普及啓発（キ）等が議題の中心となり、多職種連携や地域包括ケアを進めるための本質的な議論ができていないという指摘を受けて、他自治体の会議体の運営テーマについて情報提供を行った。

▼在宅医療・介護連携推進事業の8項目と対応した取組例

- 継続して取り組むべき項目について、「ICT部会」「研修部会」「普及啓発部会」等を設置して対応している例が複数存在する



▼その他の取組の事例

- 上記以外に以下のようなテーマ／部会を設定して取り組んでいる事例も存在する

分類	内容
8項目以外の独自テーマの設定	<ul style="list-style-type: none"> 三鷹市、武蔵野市では、上の3つのテーマ／部会の他に以下のような部会を立ちあげて取り組んでいる <ul style="list-style-type: none"> －病院連携部会、入退院部会 －認知症部会
時々の重要テーマの設定	<ul style="list-style-type: none"> 多摩市では、「研修の開催(研修部会)」「支援窓口ニュースの発行」を継続して進めているほか、以下のような課題を毎年設定して対応を検討している <ul style="list-style-type: none"> －退院支援@R元年度 －コロナ禍の連携の課題@R2年度 －コロナ禍における認知症高齢者の医療・介護の連携@R3年度 －認知機能が低下した高齢者の意思決定支援@R4年度
連携の課題の洗い直し～新しい枠組みの設定	<ul style="list-style-type: none"> 柏市では、以下の4つの場面について既存の取組(全市／職能団体毎)の洗い出し～現況の評価～関係者ヒアによる課題整理～今後実施すべき内容の検討という取組を複数年かけて進めている <ul style="list-style-type: none"> －入退院支援 －日常の療養支援 －急変時の対応 －看取り
その他、個別課題の発見・対応	<ul style="list-style-type: none"> その他、タイムズ24(株)と協定を結んで、訪問系事業所が専用で利用できる登録駐車場(有料)を確保する仕組みを構築した八王子市のような事例も存在する

6 次年度の取組方針の検討

6-1 検討部会の開催

コロナ禍の3年間に、これまで「検討部会」で作り上げてきた“顔の見える関係”づくり等の取組が中断する一方で、多職種の世代交代が進むという大きな変化があったことから、「検討部会」はこれらの課題に対応することが求められている。

令和5年度の検討部会は、令和5年3月に開催した第4回検討部会で確認した通り、まず従前の取組を再開すること、多職種の世代交代等の地域の課題について議論して令和6年度以降の作戦を検討することとする。

<検討部会の進め方(案)>

- 年4回開催する(予定)
- これまで作り上げてきた連携推進勉強会や市民啓発のイベントは、従前の内容で再開することを基本に、「検討部会」はその開催準備を進める
- 連携推進勉強会や市民啓発のイベントの企画検討に時間をかける代わりに、在宅療養に関する地域の課題やその対応策について検討を進める

6-2 多職種協働による連携推進勉強会の開催

日野市の多職種連携の基盤の1つである「連携推進勉強会」は、コロナ禍の3年間、ウェビナーやMCS上での交流といったオンラインでの開催、さらに職種単位や小さなエリア単位での開催を余儀なくされており、コロナ以前に実施していた多職種をつなげる“顔の見える関係”づくりの必要性が指摘されるようになっている。

令和5年5月からは、新型コロナウイルスの感染法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられることになっていることから、令和5年度は対面形式でかつ内容もコロナ以前と同じ「連携推進勉強会」を以下の通り再開することとする。

<勉強会・研修会の進め方(案)>

- 概ね3か月に1度の頻度で、合計4回の勉強会を開催する
- 全4回の内訳は、第1段階の勉強会3回、第2段階の勉強会1回を想定する
- 第2段階のテーマ・プログラムは、過去に実施したものを候補に検討部会の中で決定することとする

6-3 地域住民への普及啓発の実施

地域住民への普及啓発についても、「連携推進勉強会」と同様にコロナ以前の取組を再開することを基本的に、イベント「ひの在宅医療・介護サービスフェア」の開催を目標とする。

また、こうした大規模なイベントの他にも、介護予防教室や地域の集まり等の機会に、コロナ禍の3年間に作成した動画やリーフレット（在宅療養ガイドブック）を活用した情報提供を行うことも検討する。

過去3年間に取り組んできた動画の作成については、検討部会の中でシリーズ化の要望が高まった場合や、新たな変異ウイルスが発生し大規模なイベントの開催が困難になった場合に実施を検討することとする。

6-4 多職種連携ルールの更新

令和5年度は、コロナ前の取組を再開することが基本となり、新たなルールや連携に関するエチケットは発生しづらいことが想定されるため、全体では主に過去にまとめた「多職種連携ルール（エチケット集）」の周知を進めることとする。

また、今年度で開催した薬剤師とケアマネジャーをつなぐ連携推進勉強会（2-2-1）のような特定の職種間の連携支援、市立病院と地域との情報交換会（2-2-4）のような特定の状況を対象にした連携支援の取組を継続して進め、その成果をもとに既存のルールの更新や新たなルールの検討なども行うこととする。

その他、患者グループ機能をはじめ、多職種連携ツールMCSの活用が少しずつ進んでいくことが想定されることから、MCSに関するルールについて必要な検討や情報提供を行うことも想定する。

6-5 国、東京都・他自治体の取組等の情報提供

令和5年度の検討部会では、日野市の在宅療養の抱える課題やその対応策について議論を行うことになっている。そこで「国、東京都・他自治体の取組等の情報提供」については、検討部会の各回で議題になった／なる予定の内容について情報収集を行い、生産的な議論を進めるための材料を提供することとする。